

産業を育成するまち

施策

自然を活かした産業を育成する

現状・課題

本市は、海・山・里に恵まれ、市の中央部には清流が流れるなど豊かな自然環境に恵まれています。

一方、冬季の降雪のため、農地の有効利用を図りにくいという自然特性もあります。

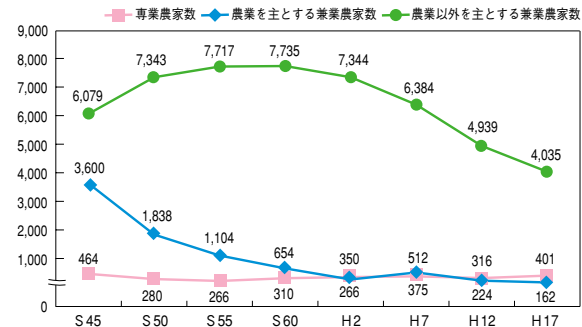
また、農林水産業従事者の高齢化や所得の減少などにより、意欲のある担い手が不足しています。

これからは、農山漁村地域に意欲ある担い手が残れるよう生活環境を整備するとともに、都市生活者との交流による地域づくりを目指します。

施策の方向性

- ・ 意欲ある担い手の育成
- ・ 生産コストの削減
- ・ 特産品化やブランド化による農林水産物生産と販路の拡大
- ・ 若者が農山漁村に居住できる環境の整備

● 農家数（専兼別）



〔「農業センサス」農林水産省〕

● 用語説明

- *1 集落営農：「集落」を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農のこと。
- *2 特用林産物：「しいたけ」等のきのこ類、「ぜんまい」「わらび」等の山菜類のことであり、農山村地域において就労の確保と収入の安定に大きな役割を果たしている。
- *3 地産地消：地域の消費者ニーズに即応した農業生産と、生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者と消費者を結びつける取組み。
- *4 認定農業者：農業経営基盤強化促進法に基づく制度。経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、市町村の基本構想に照らして適切であり、その計画の達成される見込みが確実で、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切である、との基準に適合する農業者として、市町村から認定を受けた者。
- *5 グリーンツーリズム：都市生活者が農村に滞在し、余暇を過ごそうという旅行の形態。農業体験等を取り入れた独自の方法で、農村の良さの再認識やまちおこしを行う団体もある。
- *6 二地域居住：都市住民が年間1～3ヶ月程度、農山漁村などの同一地域に滞在することで、都市と田舎の二箇所に住居をもつ。
- *7 週末帰農：週末を利用して農山村にて農業に在所むこと。
- *8 棚田オーナー：棚田の多面的機能の意義を、田植え、草とり、草刈、稲刈り、はさがけ、脱穀の作業体験を通じて理解する制度。
- *9 中山間地域等直接支払対象面積：耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正する農家等への交付金により、農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し多面的機能の確保を図る制度の対象となる面積。



課題を解決するために

基本柱1 意欲ある担い手の確保と生産力の向上を支援する

農林水産業の産業としての魅力を高め、意欲ある担い手の育成や産業基盤の整備による生産コストの削減を図る。経営を安定させるため、素材以外の加工品の生産や副産物の有効利用を図る。

| 中 柱 | 内 容 |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新たな就業者の確保・育成 | ◎ 就業のための情報の提供、技術支援、就業資金の援助 |
| 農用地の集約化 | ◎ 農作業の効率化、生産コストの削減を図るため、農用地集約や集落営農*1等による農作業組織の集団化、法人化 |
| 農林水産物等の販路拡大 | ◎ 福井農産物の市場競争力・ブランド力を高めるため、おいしい福井米づくりや特用林産物*2づくりの支援、水産物への支援、園芸作物等の生産支援 ◎ 地産地消*3による地元生産物の消費拡大 |
| 消費者が求める農産物の生産 | ◎ 有機、低農薬農産物の栽培 |
| 漁業生産の基盤づくり | ◎ つくり育てる漁業の推進 ◎ 漁獲物の安全な出荷、漁船の安全な保管のための漁港整備 |
| 産地、生産者との連携（再掲） | ◎ 生産地情報の収集による安定かつ、鮮度の高い安全な食素材の供給 ◎ 地元生産者との連携強化 ◎ 豊かな食育の推進 |

| | | | | | |
|-------|------------------------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 指標 50 | 担い手経営体（認定農業者*4・集落営農等）数 | 基準値（H17） | 148経営体 | 目標水準（H23） | 300経営体 |
| 指標 51 | 農業産出額 | 基準値（H16） | 10,171百万円 | 目標水準（H23） | 11,000百万円 |
| 指標 52 | 特用林産物（きのこ類）生産量 | 基準値（H17） | 520 t | 目標水準（H23） | 580 t |
| 指標 53 | 水産漁獲高 | 基準値（H17） | 1,998 t | 目標水準（H23） | 2,200 t |

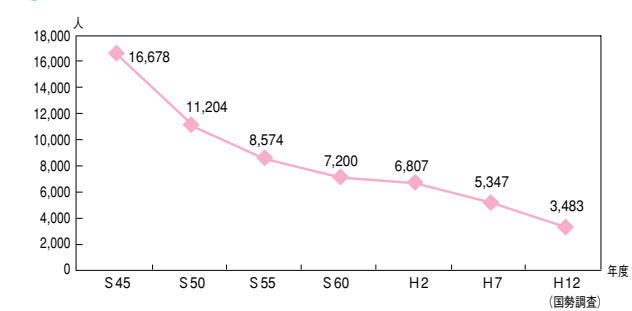
基本柱2 農林水産業を支える生活環境を整備する

若者が定住し、地域が連帯できる集落組織を再生するため、農山漁村の生活環境を整備する。農山漁村住民と都市住民とが触れ合える機会を提供する。

| 中 柱 | 内 容 |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 農山漁村の快適な生活環境づくり | ◎ 自然を活用した農山漁村地域環境の整備 |
| 農山漁村と都市のふれあい交流及び二地域居住等の推進 | ◎ 農林漁業体験機会の提供 ◎ 農産物や水産加工品の販売機会の確保 ◎ グリーンツーリズム*5の普及 ◎ 二地域居住*6や週末帰農*7に関する研究 |
| 中山間地域の活性化 | ◎ 農産物の加工施設の整備による就労の場の確保 ◎ 地域特産物開発による地域住民のふれあいのある環境づくり |
| 水質の保全 | ◎ 集落排水の整備 ◎ 合併処理浄化槽の普及 ◎ 特定地域環境保全下水道の整備 |

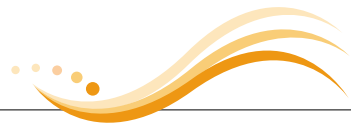
| | | | | | |
|-------|------------------|----------|---------|-----------|---------|
| 指標 54 | 農林水産業従事者数 | 基準値（H12） | 3,483人 | 目標水準（H22） | 2,090人 |
| 指標 55 | 集落排水整備率 | 基準値（H17） | 72.6% | 目標水準（H23） | 93.2% |
| 指標 56 | 棚田オーナー*8数 | 基準値（H17） | 37組 | 目標水準（H23） | 100組 |
| 指標 57 | 中山間地域等直接支払対象面積*9 | 基準値（H17） | 34,878a | 目標水準（H23） | 35,478a |

● 農林水産業従事者数



（国勢調査）

- ◎ 補完指標 ・ 農作物収穫量、間伐材利用量
- ・ 農村部人口



産業を育成するまち

施策

活力と魅力あふれる産業をつくる

現状・課題

繊維産業は本市の基幹産業として、一時は製造品出荷額^{*1}の37%を占め、地域産業の中核を担ってきましたが、今日では27%に落ち込み、また全製造品出荷額も減少傾向にあります。

しかし、市内には繊維産業などを基盤とした高度で多様な技術力、開発力を持つモノづくりの企業が多く存在しており、これらの技術力を活かした新商品づくりや新分野への進出も見られ、近年の景気回復に伴い、新たな企業の立地、工場の増設も増えてきています。

活力のあるまちを築くため、今後も起業家への支援や地場産業などの新たな展開への支援を総合的・積極的に行いながら、企業誘致による産業の活性化や雇用の増加を目指します。

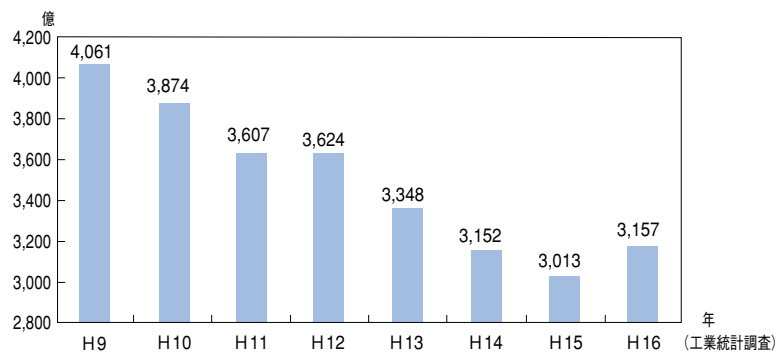
また、これからは、新たな交流を促進するため、福井の魅力の発信や、交流客が楽しめるまちづくりに取り組みます。

さらに、本市の自然環境、歴史的背景、風土条件を活かしながら、多様な観光ニーズに応じた魅力ある観光地づくりに取り組みます。

施策の方向性

- ・ 多様な交流の拡大による産業の活性化
- ・ 地域資源を活かした新たな価値の創造
- ・ 企業誘致と起業家の育成による雇用の確保
- ・ 産業構造の変化に対応する職業能力の開発

● 製造品出荷額等（4人以上の事業所）



●用語説明
 *1 製造品出荷額：その事業所の所有する原材料によって製造されたものを当該事業所から出荷した工場出荷価額。
 *2 交流人口：居住者に加えて、通勤・通学者、観光やレジャー、買物などで訪れる人なども合わせた人口。
 *3 コンベンション：博覧会や見本市などの大規模な催しのこと。
 *4 創業ベンチャー：新技術や高度な知識を軸に大企業では実施しにくい創造的・革新的な経営を展開する個人や団体。
 *5 租付加価値額：生産活動によって新たに生み出された価値の総額。製造品出荷額等・原材料使用額等・一内国消費税で算出。
 *6 実用新案：物品の形状・構造または組み合わせについて、産業上利用できる新規の考案をすること。
 *7 ビジネスキャリア制度：ホワイトカラー層を中心に技能や職務能力等を高めるため、様々な専門的な知識や能力を習得することを支援する国の学習システム。



課題を解決するために

基本柱1 交流人口^{*2}を増加させる

外に向かって福井の魅力情報を発信し、本市のイメージアップを図る。多様な交流の促進に向け、観光客の誘致・コンベンション^{*3}の開催を図る。円滑な人的交流を活性化させるため、高速広域交通体系の整備を促進する。

| 中 柱 | 内 容 |
|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 福井のイメージづくり | ◎ 地域固有の観光資源の再評価による新たな魅力づくり ◎ 福井の魅力の情報発信 |
| 交流客をもてなすまちづくり | ◎ 観光地・宿泊施設等の環境の整備 ◎ 市民のもてなしの心の醸成 |
| 高速広域交通体系の整備促進 | ◎ 新幹線、高速自動車道の整備促進 ◎ 福井港利用推進支援 |
| 農山漁村と都市のふれあい交流及び二地域居住等の推進（再掲） | ◎ 農林漁業体験機会の提供 ◎ 農産物や水産加工品の販売機会の確保 ◎ グリーンツーリズムの普及 ◎ 二地域居住や週末帰農に関する研究 |

| | | | | | |
|-------|-----------|----------|----------|-----------|----------|
| 指標 58 | 就業・就学流入人口 | 基準値（H12） | 51,906人 | 目標水準（H23） | 59,200人 |
| 指標 59 | 宿泊者数 | 基準値（H17） | 454,900人 | 目標水準（H23） | 500,000人 |

基本柱2 地域産業の競争力を向上させる

地域産業発展のため、新たな企業の創出、新商品・新サービス、新分野への進出、新たな販路開拓など企業の意欲ある取り組みの促進を図る。

| 中 柱 | 内 容 |
|-------------------|------------------------------------------------|
| 地域資源を活かした新たな価値の創出 | ◎ 既存産業の高度化や新分野への事業展開を図るため、新商品・新技術開発や人材育成などへの支援 |
| 業種を越えた連携 | ◎ 多様な産業展開を図るため、産学官、企業間、地域間、異業種・異分野間の交流・連携の支援 |
| 産業情報の発信 | ◎ 福井の産業の認知度を高めるため、福井ブランドの商品等の販路開拓の支援 |
| 起業家の育成 | ◎ 創業ベンチャー ^{*4} の活発な展開を促進するための支援体制づくり |

| | | | | | |
|-------|------------------------------|-------------|------------|--------------|------------|
| 指標 60 | 租付加価値額 ^{*5} | 基準値（H16） | 163,320百万円 | 目標水準（H23） | 180,000百万円 |
| 指標 61 | 特許・実用新案 ^{*6} 出願数（県） | 基準値（H12～16） | 4,811件 | 目標水準（H18～22） | 5,300件 |

基本柱3 安心して働ける雇用の場を創出する

市民の安定した雇用の場を確保するため、既存企業の事業活動環境を支援するとともに、市外からの新規企業立地の促進と市外への企業流出を防止する。また産業構造の変化に対応する産業の担い手を育成する。

| 中 柱 | 内 容 |
|----------------|----------------------------------------------------------|
| 企業誘致・企業流出の防止 | ◎ 市内への企業の新規立地を促進 ◎ 産業立地関連情報の発信・整備 ◎ 企業転出防止のための関係機関の連携 |
| 福井の産業を担う人づくり | ◎ 雇用情報の提供 ◎ 職業能力の向上・開発の支援 ◎ 若年者雇用の促進 ◎ ITを活用できる人材の育成 |
| 生涯を通して働ける環境づくり | ◎ 中高年齢者や障害者の雇用促進 ◎ パートタイム労働、派遣労働、在宅勤務等の多様な働き方への支援 |

| | | | | | |
|-------|----------------------------------------|-------------|----------|--------------|----------|
| 指標 62 | 新設事業所数 | 基準値（H13～16） | 1,641事業所 | 目標水準（H18～21） | 1,800事業所 |
| 指標 63 | ビジネスキャリア制度 ^{*7} 修了認定試験合格者数（県） | 基準値（H15～17） | 204人 | 目標水準（H19～23） | 500人 |

◎補完指標
 ・観光客入込数
 ・製造品出荷額等
 ・有効求人倍率、学卒者の就職率、市内事業所数の推移、市内従業者数の推移、就業構造の推移（事業所数・従業者数）、新規雇用者数